

# ここぴあ(KOCOPIA)は こんな施設です

## ●直売施設

朝採れの新鮮な地元農産物など安全・安心な商品を皆さんに提供する施設です。また、湖南市と交流のある北海道比布町や鳥取県北栄町の特産品も販売します。

## ●研修室

産業交流のための講演・セミナーなどを実施する部屋です。約120㎡の広さがあり、最大80人収容できます。産業交流や地域づくりの場として利用できます。

## ●調理室

料理教室や調理実習に利用できます。

## ●イベント広場 (屋外)

皆さんの憩いやイベント開催時に活用します。

### 農産物や工芸品など出荷したい!という人 募集中

「ここぴあ」では、生産者・出荷者から商品を預かって消費者に販売し、得た代金から、手数料を差し引いた残りの金額を出荷者にお返しする委託販売

方式で運営します。愛情込めて作った農産物などが直接消費者に届く喜びや、やりがいを感じてみませんか。



### 農業に関心のある人、農業に携わっていない人もぜひお越しください

## 第2回 湖南省市民農業塾

湖南省の農業にまつわる様々な分野で活躍されている人たちから、「農」の世界に飛び込まれたきっかけや情熱についてお話いただきます。

- 日時 9月30日(金) 午後1時～3時30分
- 場所 市民学習交流センター(サンヒルズ甲西)
- 内容 湖南省で頑張る農業人～魅力あふれる青年農業者の活躍～
- 講師 高畑学さん(有)アグリ甲賀)、佐々木由珠さん(株)fm craic)、後藤素子さん((一社)地域活性化支援ネットワーク)、園和也さん(スマッピー正福寺)、武村幸奈さん(株)はたけのみかた)



## 人権シリーズ

### 差別のない笑顔あふれるまちをめざして 9月は同和問題啓発強調月間です

滋賀県では毎年9月を「同和問題啓発強調月間」と定めており、市でも同和問題に対する正しい理解と認識を深めるための啓発活動に取り組んでいます。

人は、一人ひとりがかげがえのない存在であることから、平等に人権(すべての人が生まれながらにして持っている、幸せに生きていくための権利)を有し、いかなる場合にもそれを妨げられることは許されないものです。

#### ◆根深く残る差別

同和問題は、特定の地域の出身であることや、そこに住んでいることを理由に、就職や結婚といった人生の岐路において、様々な差別を受けるという重大な社会問題です。現在では匿名性を悪用したインターネット上での書き込みなど、差別が巧妙で陰湿になってきています。

#### ◆自然になくなっていく?

同和問題については「寝た

子を起こすな」という考え方がありますが、正しい認識を持つていないと、事実に基づかない他人のうわさや個人の偏見によるインターネット上の書き込みなどをうのみにし、誤った知識を持ってしまっておそれがあります。学習の場に参加することなどで、正しく理解し、また誤った知識を持つている人がその間違いに気づき、その認識を改めることが必要です。

差別意識の解消に向けて市では教育、啓発の積極的な推進を行うとともに、市民の皆さん一人ひとりの理解と行動が必要不可欠です。誰もが平等で明るく幸せに暮らしている社会をつかっていくために、もう一度同和問題についてみんなで一緒に考え直してみましよう。

《今月は人権擁護課が担当しました》